

医工連携イノベーション推進事業 開発・事業化事業（ベンチャー育成）
事後評価結果について

1. 研究開発課題名 : 無線給電技術を活用した低侵襲神経刺激治療デバイスの開発
2. 研究開発代表者氏名（所属） : 林 健太郎（株式会社 HICKY）

<評価コメント>

ステント型電極を横隔静脈に留置し、無線給電により胸部パッドからエネルギーを与え、経静脈的に横隔神経を刺激することで呼吸を調整し CSA を治療する低侵襲治療法を開発している。計画した実施事項の大半について成果が出ており、複数のピッチコンテストで優秀賞等を受賞している点は評価できる。

しかしながら、基本性能ともいえる無線給電が動物実験では実現が未達であり、開発の加速が必要である。

以上